

つむぎと暮らす Q&A



【子どもの「絵心」を伸ばす】
 私は絵がとて下手です。娘も下手なのを自覚していて、授業や夏休みの宿題などを嫌がります。どうすれば絵が上手になるでしょうか？ (三豊市・T)

第1回

A 表現を好きになる

大人の価値観から見ると「上手・下手」は、子どもの絵には当てはまらないものです。子どもの作品を否定せず、「表現できる力と心」を育てることを大切にしてください。表現することが好きになれば、どんどんその子の個性が伸びていくはずです。

市、観音寺市、三豊市財田町の保育所・こども園・幼稚園に関わり、保育士と連携しながら週一回、子どもたちと表現活動に取り組んでいます。

今回答えてくれたのは

NPO法人アーキペラゴ芸術士事務局
 芸術士マネージャー
 太田 絵美子さん

表現すること好きな子に

大 人には、デッサンなどのテクニックや、分かりやすい絵はどういう絵か、という共通の認識がありません。一方で、無欲な子どもは自分が感じたイメージをそのまま絵にします。「下手」なのではなく、大人では描けない、マネのできない絵を描いているのです。だからこそ子どもの絵には、「上手な絵」にはない余韻があります。下手だ、で終わらせるか、一度見たら忘れられない絵だね、と言うかは大人しだいです。

絵が嫌いな子も、絵を楽しんでいる子どもたちと過ごしたり、大人が「あなたの絵・色が好き」と言い続

けると、いつしか楽しんで描くようになります。楽しいとどんどん表現するようになり、その子だけの表現や線が生まれてきます。

子どもの心と力サポートする

ア キペラゴは瀬戸内海・四国エリアで文化芸術、産業、教育事業を行い、地域活性化と発展に貢献することを目的とするNPO法人です。アーキペラゴには現在、17人の「芸術士」が所属しています。芸術士は油絵、洋画、日本画、絵画、イラスト、漫画、音楽、彫刻、インスタレーション、身体

表現、ファッションデザイン、パフォーマンス、染織などのさまざまな分野で活動する作家。高松市や坂出

表現する経験を通して、子どもの自律や物事に柔軟に対応できる多様性は育ちます。重視するのは「こころ」と「ちから」です。

●探求心
 子どもの「どうして〜」という疑問に言葉で答えるだけでなく、子ども自らが答えを探し求めることができる環境を整える。

●想像力
 大人が持っていない、子どもの豊かな想像力を引き出す手助けをする。

●創造力
 表現の欲求は他者に理解されたいという思いから生じる。ことば以外の表現の世界で、子どもの可能性を広げる創造力を引き出す。



つむぎと暮らす Q&A

167



【子どもの「絵心」を伸ばす】
私は絵がとても下手です。娘も下手なのを自覚していて、授業や夏休みの宿題などを嫌がります。どうすれば絵が上手になるでしょうか？（三豊市・T）

第2回

A 環境を用意する

絵をたくさん描ける子になってほしいなら、小さい頃から絵が描ける「汚していい」スペースや道具を用意しておくことも大切です。子どもが描き上げた絵は展示スペースに飾り、絵について語り合う時間を持ち、その子なりの良さをしっかり見つけてください。

何を描くか
決める力をつける

自由に描ける
環境を整える

最 近「好きに絵を描いてほしいよ」と言うときほとんどする子どもが増えていきます。就学前の子どもですら、「何をしたいか分からない、描くものを教えて」と言うことがあります。

紙の上は自由な世界です。紙の上の「自由」に対して、何をするか自分で決断し、自分の「責任」をもって何かを描き上げられる達成感を味わうことは、絵の上達にとどまらない精神面の成長につながります。ぜひ「好きにやっつけていいよ」と言われたら「ヤッター」と喜び、子に「あけてください」。

自 由に描く力をつけるには、自由に描ける環境をつくるのが大切です。

みなさんは、子どもの時に床や壁、地面に落書きをした経験はあるでしょうか。住まいや遊び方が変化し、子どもがクレヨンやペンを多く使ったときに、ためらわず絵を描ける・楽しめる子どもにしたいなら、家の中心に「ここでは何をしてもいい」というスペースや、自由に使える大きな紙をいつも用意してあげてください。そして、子どもが何かを描いたら、家のどこかに貼って「できたねー」と声をかけましょう。「あなたの絵が

大好き」と、言葉や態度で示してあげてください。

「ここは汚してもいい場所だけど、ここは汚してはダメ」としっかりメリハリをつけて、決まりの中で自由に遊ばせることが大切です。規制は守った上で、いかに自由に楽しむか、と考えることが子どもの「自律」心をはぐくみます。

絵だけでなく音楽、身体表現などさまざまな分野で言えることですが、子どもに自分の考えや個性をしっかり表現できるように育ててほしい、と願うのであれば、お母さんをはじめとする周囲の大人も同じ表現を「楽しむ」ことが重要。早くから習い事に通わせる、ということではなく、幼児期から子どもが楽しく表現できるといって誘導していくという意味での早期教育が求められます。時間がかかる関わり方ですが、子どもの成長には長い目が必要なのです。



つとむと暮らす Q&A

パパ・ママからの
今週の質問

【子どもの「絵心」を伸ばす】
私は絵がとて下手です。娘も下手なのを自覚していて、授業や夏休みの宿題などを嫌がります。どうすれば絵が上手になるでしょうか？ (三豊市・T)



今回答えてくれたのは

NPO法人アーキペラゴ芸術士事務局
芸術士マネージャー
太田 絵美子さん

第3回 反応見ながら対話

絵の好き嫌いには個性にすぎません。どうしても嫌なら子どもの気持ちを受け入れて、違う表現手段を与えることも検討しましょう。子どもが絵を描きたがらない場合は、画材そのものが苦手な場合があります。さまざまな画材を与えて反応を見てください。

きます。基本は子ども自身が体得していく線を大切にしてください。

画材変えると興味も子ども

個人差大きい表現の世界

子 どもの成長が一人ずつ違うように、表現にも個人差があります。

たとえば鉛筆を持つと絵を描かず文字や数字だけ書く、という子どももいます。無理矢理絵を描かせるよりは、好きなものを自由に書かせてあげましょう。童謡で歌われているように、数字の1に雲を足せば、それだけでエントツの完成です。成長につれて、どうしても絵が嫌いと感じることがあるかもしれません。そのときは「嫌いなものは嫌いだよね」と気持ちを認めただえで、授業や課題に一生懸命に取り組むことの大切さを伝えてください。親子で

塗り絵やトイレトペーパーの芯の外側をきれいに塗るなども、達成感を得られるおすすめの遊び方です。

大切なのは大人が子どもの表現したことに対してしっかり反応し、子どもの想像力を刺激するようなコミュニケーションを取ること。暗い絵を描いたら「どうしてその色を使おうと思ったの？」と聞けばいいのです。子どもが抱えた悩みが絵に表れているなら、質問が解決のきっかけになるかもしれません。

デッサンなどは、ある意味で他者の「評価」を意識した技術です。子どもの頃からテクニックを重視しすぎると、ある段階で成長が頭打ちになり「自分らしさ」について悩む時期がやって

子 どもが絵を描きたがらない場合は、絵の具やクレヨンなどの画材に抵抗がある可能性もあります。いつもと違った画材を与えてみると、興味を持って使おうとするかもしれません。実は子どもにはコンテがおすすめ。広い範囲を塗るのにも向いており、手で汚したり、ぼかしたりすることで絵が味わいのあるものに見えるので、子ども自身も「うまくできた」と気に入ることが多いです。

絵の具は使うのに準備が必要ですが、パレットに固形の状態に入っているものなら簡単に持ち歩けます。手が汚れるのが嫌い、という子どもなら、カラーペンが向いてくれるでしょう。



つむぎと暮らす Q&A

169

パパ・ママからの
今週の質問

【子どもの「絵心」を伸ばす】
私は絵がとて下手です。娘も下手なのを自覚していて、授業や夏休みの宿題などを嫌がります。どうすれば絵が上手になるでしょうか？ (三浦市・T)



今回答えてくれたのは

NPO法人アーキペラゴ芸術士事務局
芸術士マネージャー
太田 絵美子さん

【A 答え】 第4回 体験から育つ想像力

想像力はさまざまな体験を通して育ちます。ぜひ子どもをいろいろな所に連れて行ったり、楽しい経験をさせてあげてください。その後で描いた絵に関して、どんな場面を描いたのか、どんな気持ちだったのか、と絵の物語を膨らませる問いかけをしましょう。

なら、陰影がない・立体感がない……と否定から入るのではなく、「この青い海の中には何が泳いでいるの?」と物語ができるように話をしてほしいのです。木の絵を描いたなら、どんな実がなるの? この前一緒に行った山には〇〇があったね、楽しかったね……と会話を続けていくことで、子どもが虫や川を書き足していくかもしれません。会話が續くと、子どもはパズルのように多くの物語を作り出し、絵も変化していくはず。

想像力引き出す 体験と質問をする

【い】 くら想像力が大切といっても、知らない・体験していないものを描くのは大変です。動物の絵が動物に見えないのは、描く対象をあまり見えていないからかもしれません。夏休みの最終日に無理矢理描く絵を楽しめ、というのも難しく塗りつぶして「海」と言う

秋のおすすめイベント

●ART SETOUCHI2014秋

瀬戸内国際芸術祭2013が開催された島々では、今も島々に残る作品を鑑賞できるほか、11月16日(日)まで毎週末さまざまなイベントが開催されています。島巡りとアートを家族で楽しみましょう!

[芸術士参加イベント]
谷由貴とドリームフレンズ チルドレン
芸術士派遣事業で子どもたちが制作した不思議な動物たちを展示。動物を制作するワークショップも開催します。

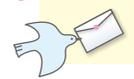
[会場]
男木島 川島猛&ドリームフレンズギャラリー
[ギャラリー開館日]
10月25日(土)、26日(日)、
11月1日(土)、2日(日)、3日(祝)

[時間]
午前11時~午後4時

[ワークショップ開催日]
11月1日(土)、2日(日)、3日(祝)
※持参する道具や素材はありません

[料金]
大人300円(ギャラリー入館料、ワークショップ参加料含む)、15歳以下無料

[問い合わせ]
瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局
(瀬戸内こえびネットワーク)
(平日) ☎087(832)3123
(土日祝) ☎087(813)2444



つむぎと暮らす Q&A

170

パパ・ママからの
今週の質問

【子どもの「絵心」を伸ばす】

私は絵がとて下手です。娘も下手なのを自覚していて、授業や夏休みの宿題などを嫌がります。どうすれば絵が上手になるでしょうか？ (三豊市・T)



今回答えてくれたのは

NPO法人アーキペラゴ芸術士事務局
芸術士マネージャー
太田 絵美子さん

A 答え 第5回 表現の多彩さを知る

世の中には多くの芸術表現があります。「上手」な絵以外にも心を打つ表現があることを伝え、絵への心理的ハードルを下げましょう。粘土や工作などの立体に親しむ経験は、絵に立体感を与える助けになります。お気に入りのキャラクターの模写などもおすすめです。

● 中・高学年

す絵の能力も養います。実際に動物を粘土で作ってから絵を描いてみましょう。少し描き方が変わるかもしれません。

奥深い「アート」を親子で鑑賞

最 近ではインターネットや画集、雑誌の特集などで、芸術表現に触れるチャンスが増えました。多彩なジャンルから、好みや感性に近い作品を見つけましょう。中には「こんなものが作品として存在するのかわ」と驚く出会いもあるでしょう。ぜひ家族で感想を語り合ってください。さまざまなる作品を見ると、心をゆさぶる表現が写実性以外の要素にもあると理解できるはずです。

塗った」など、描く対象にあまり用いられない色を独自の感性で使います。既成概念にとらわれない、今の時期だからこそその表現方法を大切にしてください。

● 低学年

授業はしっかり受けた上で、校外で子どもが興味を持つことに集中できる機会を与えると、授業に応用できる力がつきます。

絵が苦手でも工作などの能力を伸ばすことで、周りの評価や本人の意識を変えることができるでしょう。

小学生になると使う機会が減る粘土もおすすめです。粘土をこねる動きは心が癒やされ、手の感覚を鍛えながら立体を作り上げる経験は、立体を平面に書き起こ

子どもが絵を好きになるには

子 どもは「この犬は喜んでるからピンク色に

子どもの可能性を広げるためにも、お母さんや周囲の大人が子どもの心を開くてほしいと願っています。

